



# 幸樹

こう じゅ

## 第 80 号

2021 年 11 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



『自動車を描きたくなった』

絵・高橋 聖大

# 仲の良い家族、ひ孫にも恵まれ、友人に巡り合えて幸せ。

インタビューのご了承を頂きご自宅に伺うと、「私の事、増田誓（せい）」と書かれた封筒を渡されました。中には便箋3枚。ご自身の思いが綴られていました。

（聞き手・介護職員 井上由美）

## 食べるのも困った戦争体験

誓さんが産声を上げたのは1930年（昭5）8月29日、世界恐慌が日本にも波及し不況が深刻化し始めていた頃です。

小学校に入学した1937年（昭12）に日中戦争の端緒となった盧溝橋事件が。そして終戦の昭和20年まで戦時下で子供時代を送られました。

平和の時代がやってきたと言っても食べるものは不足し、細々と農家をやっていたお母さんが作る作物で家族10人がなんとか食べていられたそうです。

「その時代、周りで多くの人が不本意な人生を送り、命を落としたと思う。今、子供と孫に囲まれて生きていられるのは本当に幸せ」と、当時を振り返り語られます。

小さい時は人見知りをする大人しい性格だったそうですが、勉強も大好きな女の子でした。

郵便局で3年ほどお勤め後、昭和23年に結婚。一男二女に恵まれます。

お子さんのためにミシンを踏みたくさんのお洋服を縫った事など、思い出も話して下さいました。ご近所の方から「お子さんの面倒を見ているから、うちの子達にも可愛い洋服を縫って！」と頼まれることもあったそうです。

## 息子さんに先立たれる悲しみに

しかし今年の3月、誓さんとずっと一緒に暮らしてきた息子さんの幹雄さんが脳梗塞で急逝、それ以来一人暮らしとなった誓さん。幸樹会からあなず訪問看護と訪問介護のゆずが支援に入りおつきあいが始まりました。

「私の人生の中で一番辛い出来事。親より先に亡くなるなんてこんな親不孝はない。いくら嘆いても、泣いても、戻るわけではないのに。切なくて悲しくてやりき

増田誓さんにお聞きしました

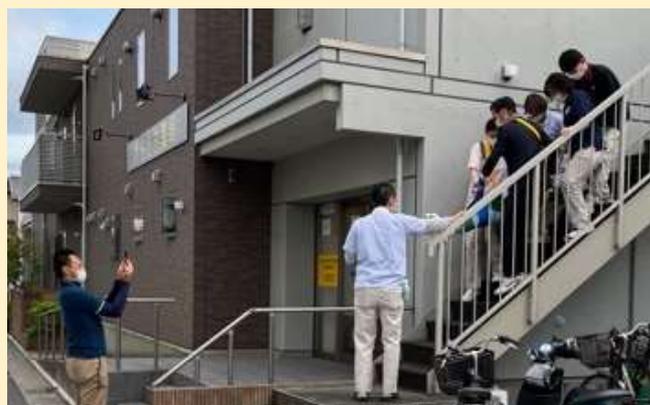
れない気持ちになってしまう…。欠かすことのない朝夕の勤行。成仏を願って唱えるだけ」と話す誓さんにかかる言葉はみつかりませんでした。

## 娘さんと新たな生活のスタート

現在、誓さんは引越しの準備に忙しくしていらっしゃいます。60年近く過ごした松戸を離れ、娘さんとの生活をスタートされます。

「戦争中でも仲の良い家族の中で育ったこと、松戸にきてからたくさんの友人に巡り会えたこと、ひ孫にも恵まれ幸せだと思う。身体に気をつけ迷惑をかけないようにしたい」

さらっと話す誓さんですが、その言葉には重みがあり、学ぶことがたくさんありました。



## 災害時の行動、理解深まる！

10月21日、幸樹会館防災訓練を実施しました。

震度5強の地震を想定し、利用者・職員の安全確保、外階段での避難訓練（写真）、設備の被害状況、在宅の利用者・職員の安否確認、消火訓練等を行いました。

「消火器を使いのは初めて」の職員もいましたが、今回の訓練での改善点を明らかにして、今後も実践的な訓練を行っていきたいと思います。（加藤義幸）

## 看多機さんしよの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、さんしよを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

### ■包括的ケアを1事業所を実施していることに感銘

#### 東京医科歯科大学病院研修医 東中園真也

患者さんが住み慣れたご自宅や地域で過ごして頂くために、介護、看護、デイサービスなど、包括的に1事業所で展開してゆく取り組みに大変感銘を受けました。このような施設が次第が増えてゆけば、きっと日本の医療も変わってゆくだろうと思いました。

以前、各社会システムに事業所が異なることで、様々な手間や苦勞をされている患者さんとお会いしたことがありました。このように包括的に各システムを担う場所があればと思っておりましたが、まさに実現されていたことに驚きと可能性を感じました。

これからは、急性期においても慢性期においても、どの領域に属していても、患者さんが地域に戻ってからのことをありありと描き、地域のシステムと連携した医療を実現してゆけるような一人の医師となってゆけるよう、精進して参ります。

### ■在宅の仕事、介護保険を今後の診療に生かしたい

#### 松戸市立総合医療センター初期研修医 小牟禮あゆみ

普段の研修ではみることのできない、訪問看護や訪問リハビリをみることができました。また褥瘡のケアにも関わらせていただきました。

他職種の仕事や内容、介護保険制度に触れることができ、今後の診療に生かして参りたいと思います。

今年度いっぱい松戸市立総合医療センターで研修しておりますので、何か関わる機会がありましたらよろしくお願ひ申し上げます。

## 新入職員の紹介

#### 看護師 長井 真紀

初めまして。9月より入職しました。長崎県大村市でずっと働いておりましたが、知人の多くいる千葉県松戸市にこの度引っ越してきました。訪問看護は初めての経験で入職して1か月がたちますが、まだまだうまくいかず悩むことも多いです。しかしスタッフの皆様がとても親切に教えてくださるので「次は頑張ろう」と前向きに仕事ができ素敵などころに入職させていただいたと感じております。はじめは利用者様のお宅にお伺いする時はいつも緊張してしまい焦ることも多々ありましたが、少しずつ慣れてきたこともあり、利用者様・ご家族様とのコミュニケーションも取れるようになってきました。これからも皆様のご指導のもと、もっと成長しより良いケアを提供



できるよう努めて行きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

#### 看護師 瀬戸 留美子

初めまして。10月から入職させていただきました。以前は精神科外来と訪問看護をしておりました。幸樹会では職種の専門性を発揮して、利用者様に安全安楽なサービスを提供してまいりたいと思ひます。



## ケアマネジャーのこころ

#### あんず居宅介護支援事業所ケアマネジャー・岡本 健吾

今回は、「ケアマネのこころ」ならぬ「幸樹会うんどう部」について書かせていただきます。ご了承を。

幸樹会うんどう部は、松戸市の正月の風物詩である『七草マラソン』に参加するところから始まりました。法人設立当初のまだスタッフも数名だった時代、あんず訪問看護の職員を中心に、みんなで七草マラソンに参加し、楽しみながら地域を盛り上げていこうという主旨でスタートしました。それ以後、スタッフが増えるに伴い参加者も増え、2019年には10人以上がランナーやボランティアとして参加しました七草マラソンは、来春の大会もコロナ禍で中止が決まり3年連続の中止です。とても残念です。2023年の大会には盛大に参加できるといいなと思っております。

### うんどう部再開に期待

さて、筆者ですが、ここ2年ほどは、規模の小さなトレイルランニングの大会に何度か出ましたが、コロナ禍でフルマラソンやトライアスロンは開催が無い状況でした。

そんなある日、一通のメールが目にとまりました。

『東京エクストリームウォーク 100』

なんでも、朝、小田原を出発して、翌朝東京に戻ってくるというウォークイベントです。紹介文を読むと、「自身の体力と気力の限界に挑み100kmを歩き切るイベント」とあります。夜通し歩くなんで“なんとエクストリーム（極限）なんだ！走っての100kmはできないけど歩くのだったらできるぜい！”と、根拠のない自信でワクワクが止まらず、さっそく、幸樹会うんどう部員の加藤氏に声をかけて、一緒に出場を決めました。

ただ、練習で帰宅時の8km弱の距離でも脚に堪えてしまい、不安な気持ちに襲われています。皆様がこの記事を読まれる頃には結果が出ていると思ひます。

運動は、一人でも仲間とともに挑んでも、これまでにない気づきや絆が生まれてきます。コロナ禍が収束した暁には、幸樹会うんどう部の活動も、復活&拡大できると良いですね。





## デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

新型コロナウイルス Covid-19の感染者が、予想よりも早く上昇していると、マグナス・ヒューニッケ保健大臣（写真）は述べています。これは予想していたことです。しかし、予想よりも早く上昇していますと彼は言います。水曜日（10/20）、国立血清研究所（SSI）は、1871人が陽性反応を示したことを発表しました。これは、1月上旬以来の高い数値です。



### 接種率 90%をめざすが

ワクチンを受けていない人にはっきりと言いますが、今こそ予防接種を受けることを強く考えるべきです、制約のない開かれた社会を維持するために必要だからです。デンマーク政府の目標は、12歳以上の90%の人がコロナウイルスの予防接種を受けることです。

「現在、接種者は87%に達していますが、最近は、また感染が増えていることを実感しています」とヒューニッケ保健大臣。金曜日には国会議員の各政党による「徹底的なブリーフィング（説明報告会）」に呼ばれると言っています。会議の理由は、先週の感染症と入院の数字です。しかし、金曜日には制限に関する具体的な提案は行われたいと言いますが、保健大臣はリッツアウトに、再び制限や閉鎖が行われる可能性を、今はそこには至っていないが「排除できない」と語っています。

「別に90%に達しなければ飲食店・施設等が閉店だと言っているわけではありません。全然そういうことはありません。目標は90%です。ずっとそうでしたし、今もそうです。私はデンマークをオープンにするために戦っています」と、ヒューニッケ保健大臣は言います。

8月末、政府はCovid-19を社会的に重要な疾患ではないと判断し、格下げを決定しました。社会的に重要な病気とされたことで、集会の禁止やマスクの着用などの制限を緩和しました。当時の厚生大臣は、パンデミックによって再び公共サービスが脅かされるようなことがあれば、政府は躊躇なく行動を起こすだろうと述べていました。「疫病対策からは逃れられないからこそ、これらの動きを極めて注意深くフォローし、動き出す準備をしている。具体的には、いくつかのテストを行っています。しかし、私たちの目標は社会を開かれたものにするということです」と、ヒューニッケ保健大臣は繰り返します。

ヨーロッパの他の地域でも、この数週間で感染者数が上昇しています。

## 2021年度幸樹会ケア事例検討集会ひらく

### 「前進あるも、改善点あり」

10月7日、4回目の幸樹会ケア事例検討集会を開催しました。昨年度から引き続く新型コロナウイルス感染対策、今年度に入っの職責者などの組織体制の変更など、たいへんな努力が必要な課題に役職員が力を合わせて取り組んできました。こうした状況下での事例検討です。

発表演題は次の通りです。「小児在宅に薬剤師ができること」薬剤師・松下泰樹、「認知機能の低下があっても自己決定し、困難を乗り越えてきたHさんの事例」ケアマネジャー・岩橋多恵子、「変化が多い癌末期利用者の福祉用具の選定事例」理学療法士・平将一、「脳腫瘍の少女の看取りについての一考察」看護師・福崎雪枝、「認知症の妻、がんの夫のケアから学んだこと」介護福祉士・佐藤由佳、「在宅生活不可能といわれた利用者の在宅生活支援に向けてのとりくみ状況報告」介護福祉士・宮田敬子、「住み慣れた地域で家族と一緒に生活するために行ったりハビリテーション支援の一事例」作業療法士・三上真吾。



「前進あるも、改善点あり」という講評もありましたが、事例検討を組織と個人の成長の機会とし、「住み慣れた自宅・地域で、自分らしく最後まで人生を全うすることを支援する」という理念の実現のために努力を続けていきたいと思えます。（代表理事 中野三代子）

### 八柱学習会

○10/15は開催しました。25名参加。

▼次回学習会予定（「定例日：毎月第3金曜日」）

11月19日（金）18：30～、幸樹会館2階

「地域ケアの変遷と未来」

1975～2020の時代体験と実践から語る④

お話・武井幸穂氏

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

1006KWh

幸樹会館電力使用量 43761KWh 自給率 23.00%



### 職員募集！非営利・働きがいある職場

#### 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり  
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550